

特定非営利活動法人 清水障害者サポートセンターそら

# 第23回 令和6年度 通常総会

開催日時： 令和6年6月15日（土） 10時より

開催場所： 法人事務所（静岡県静岡市清水区庵原町219番18）

## 目 次

第 1 号議案 令和 5 年度 事業報告及び決算報告

第 2 号議案 令和 6 年度 事業計画及び予算~~(案)~~

# 第1号議案 令和5年度 事業報告及び決算報告

## 1. 令和5年度 事業報告

### 〔1〕 法人運営について

利用者及びその家族からの相談やサービスに応えられるよう、各部署担当職員の増員や適正な配置に努めてきました。特に障害者相談については、計画の作成依頼や専門的に行っている身体障害者以外の一般相談が多いことや、訪問や同行など生活全般を支える多様な業務が多くなりました。

介護保険のサービスもケアマネジャーを増員し、ケアプラン作成の要望に応じてきました。また、生活介護そらでは、医療的ケアも増えてきていることから看護師も増員しました。

サービスの質の向上や職員のスキルを充実させられるよう、内部研修（OJT）を積極的に取り組み、外部研修にも参加してきました。

### (1) 法人通常総会の開催

令和5年6月17日（土）10：00～

### (2) 理事会の開催

第一回 令和5年6月12日（月）18：00～

第二回 令和5年6月28日（水）18：00～

第三回 令和5年11月28日（火）18：00～

第四回 令和6年3月7日（木）18：30～

### (3) 法人全体研修の実施

- ① BCP（業務継続計画）（10月）
- ② 虐待・身体拘束（6月・11月）
- ③ 法人理念（1月）
- ④ 安全運転（2月）
- ⑤ 感染防止（3月）

### (4) 各種研修会への参加

- ① 相談支援従事者現任研修 1名
- ② サービス管理責任者等更新研修 2名
- ③ サービス管理責任者等実践研修 1名
- ④ 障害者虐待防止・権利擁護研修 2名

## (5) 防災訓練の実施

第一回 令和5年7月10日（月）14：00～

- ① 消火器の確認
- ② 火災を想定した避難訓練

第二回 令和5年11月1日（水）14：00～

- ① 消火器の位置確認及び使い方の説明
- ② 火災を想定した避難訓練

## 〔2〕 障害者相談支援事業部

2020年から始まった新型コロナウイルス感染症も、完全には無くなってはいないものの落ち着いた日常を徐々に取り戻すことができ、訪問や面談なども注意を払いながらではありますが以前と同じように実施することが出来るようになりました。

相談実績においては前年度に比べ実人数が37%増と大幅に増加しています。障害種別を確認すると身体障害の方が全体の37%、前年比15%増。知的障害の方が全体の21%、前年比17%増。精神障害（発達障害・高次脳含む：以下同じ）の方が全体の54%、前年比46%増でした。また、相談件数においても前年度に比べ33%増加しており、特に精神障害の方の相談が全体の57%と半数以上を占めています。

相談内容としては福祉サービスの利用に関する相談が36%と最も多く、健康医療に関する相談、不安の解消への支援と続きます。福祉サービスに関しては最初から「〇〇のサービスを使いたい」といった相談は少なく、漠然とした相談に応じながら当事者の立場に立ち、複数の選択肢を挙げ、一緒に考え、最適な福祉サービス利用に繋げるケースに多く対応しました。

また、重複障害の方の相談や、複数の障害者がいる家族からの相談、1人で多くの悩みを抱えている方の相談があり、8050問題、金銭問題、虐待を思わせる問題等、絡み合っていて困っているケースが多々あり、検討を重ねながら相談支援を行いました。

### 【相談支援事業の実施概要】

年間開設日数	241日
年間相談支援延件数（累計）	3,542件
年間相談支援延人数（累計）	893人
困難事例への対応	578件
年間個別支援会議 （ケース会議）開催回数	開催（主催）した会議 4回 参加（他の機関が主催）した会議 46回

### (1) ピアカウンセリングに関する事業

ピアカウンセリングを必要とした相談件数は全体の0.6%とかなり少ない状態となっていますが、当事者同士の関わりの中で、随時相談に応じています。

相談内容としては生活技術に関するもの、不安の解消に関するものが多く、1人で抱えていた困りごとについて寄り添いながら丁寧な対応に心がけました。

### (2) 社会資源を活用するための支援

社会資源を活用するための支援を実施しました。

事業名	実施回数	参加延人数
パソコン教室	60回	60人
再興エリアのバリアフリーをチェックしよう！	1回	4人

### (3) 社会生活力を高めるための支援

社会生活力を高めるための支援を実施しました。

事業名	実施回数	参加延人数
実践講座「自分に合わせたおしゃれ術」	1回	11人
講演会・座談会「居心地のいい場所ってなんだろう！」	1回	16人

### (4) 広報啓発に関する事業

#### ① 機関誌の発行

会議や自立生活プログラムの活動報告、様々な情報を掲載した機関誌「清水障害者サポートセンターそら」を、年4回発行しました。

#### ② その他

相談支援の中で、福祉サービスを初めて利用される方と医療機関をつなぐ際、静岡市の障害者相談支援体制や福祉サービスに関すること等を、医師やその他の医療関係者に紹介および説明し、ご理解をいただけるよう周知に努めました。

### (5) 障害者虐待防止センター事業

障害者虐待の防止及び早期発見・早期対応を目的として虐待に関する通報を受理し、障害者や養護者、事業者等からの相談に対して行政をはじめ関係機関と連携した支援を行っています。

【障害者虐待防止センター事業の実施概要】（相談支援事業の実施概要に含む）

実人数	延べ支援件数
1人	4件

**(6) 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業**

- ① 福祉サービス等の利用にあたり、本人やご家族の希望に基づく計画を作成し適切なサービスが提供できるように支援しました。
- ② 前年度より増員し、常勤専従7名(主任相談支援専門員1名、現任研修修了者の相談支援専門員4名、補助職員2名)を配置することで、新規計画相談の契約増加に繋がりました。また、相談支援機能強化体制加算Ⅰを取得し、ご本人ご家族へ、より一層丁寧な支援を行いました。
- ③ 清水区障害者相談支援事務局会議に輪番で参加し、地域の課題解決や相談支援専門員の質の向上に取り組みました。
- ④ 困難事例については、静岡市委託相談員と連携し課題解決を検討しました。
- ⑤ 随時、外部研修会(Zoom 参加含む)等に参加し、相談支援専門員のスキルアップに努めました。

**【指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業の利用者実人数】**

障害者 (前年比)	333人 (+18)
障害児 (前年比)	105人 (+12)

**【指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業の実施件数概要】**

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害者	継続支援	61	50	63	79	65	63	66	63	72	72	79	73	806(+43)
	計画作成支援	28	32	34	35	22	31	24	23	24	23	25	17	318(+27)
障害児	継続支援	4	11	15	7	12	15	6	9	11	10	12	18	130(+3)
	計画作成支援	12	10	8	13	10	10	17	8	12	10	6	6	122(+12)

**[3] 障害者居宅支援事業部**

令和5年5月より新型コロナウイルスが「5類感染症」に移行しました。

移行後もマスク着用や手指消毒を行い感染拡大の防止に努めた上で、安定したサービス提供を実施しました。

サービス利用に関して施設入所等を理由にサービス利用を終了される方も数名いました。

令和5年12月より重度訪問のヘルパー調整が難しくなり、年度末にかけ重度訪問の訪問時間数が減少となりましたが、業務調整やヘルパーの協力により前年度の月平均利用時間数を上回ることができました。また、新規のご利用者

(移動支援 2 名・居宅介護 10 名) の契約にも努めました。

移動支援サービスは、新規の契約に加え、長期間利用をお休みされていたご利用者の利用再開等により前年度に比べ利用人数、利用時間数の増加につながりました。

ヘルパーとの情報交換等は前年度と同様、メールや電話を活用しました。

内部研修はレポート研修を主として行い、1 月には法人施設内で全体研修を行いました。

また、事業所業務の簡素化と効率化を図り、他事業所との連携を行いました。

### 【利用実績 居宅介護】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者	42	44	41	42	42	42	43	45	43	46	41	45	516
身体時間	152	153	153	175	143	157	164	154	146	161	155	162	1,875
家事時間	162	164	159	125	146	135	135	137	144	138	140	139	1,724

月平均利用者数 43 人 (前年度比 +1 人)

月平均利用時間 身体介護 156 時間 (前年度比 +5.9 時間)

家事援助 143 時間 (前年度比 -9.0 時間)

### 【利用実績 重度訪問】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4	5	57
時間	478	490	530	497	553	505	495	484	435	441	420	460	5,788

月平均利用者数 4.8 人 (前年度比 +0.4 人)

月平均利用時間 479.8 時間 (前年度比 +5.7 時間)

### 【利用実績 同行援護】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者	13	13	16	14	10	13	12	15	12	10	9	14	151
時間	43	56	62	45	26	59	57	55	63	32	59	70	627

月平均利用者数 13 人 (前年度比 -1 人)

月平均利用時間 52.1 時間 (前年度比 -6 時間)

### 【利用実績 移動支援】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者	67	67	66	64	58	62	71	68	70	68	64	63	788
時間	324	291	296	308	271	272	318	326	303	287	286	281	3,563

月平均利用者数 66 人 (前年度比 +3 人)

月平均利用時間 296.7 時間 (前年度比 +16.9 時間)

### 【実施内部研修】

5月	食中毒予防
6月	プライバシーの保護
7月	苦情対応、熱中症予防
9月	事故再発防止
10月	BCP（事業継続計画）
11月	虐待防止と身体拘束
1月	法人の理念
2月	交通安全
3月	感染症予防とまん延防止

### 〔4〕 放課後等デイサービス事業部

令和5年度どれみは、契約者数17人。中途契約終了者が1人でした。定員10人で平均利用者数は9.1人でした。季節の工作は、感覚遊びの要素も取り入れ、素材を楽しみながらお絵描きをし、立体作品を作りました。そのクリスマス会では、プレイタイムで練習してきた楽器演奏、ジャンボリミッキーのダンスを元気よく披露でき、ひとりひとりの自信につながりました。

ここは、契約者数18人。卒業による契約終了者が3人でした。定員10人で平均利用者数が7.3人でした。

生活介護ここは、契約者数10人でした。定員10人で平均利用者数は5人でした。畑作業は3か所で行い、季節の野菜を育てて収穫し、袋詰め作業を行いました。また、生活介護そらと合同の行事を1年通して行いました。

### 【実施行事】

	放課後等デイサービスどれみ	放課後等デイサービスここ	生活介護ここ
4月	KADODE 機関車見学、どれみランド作成（利用者作品展示コーナー）、	るくる、はーとびあ（ポッチャ大会）、外出（動物園）、工作（菜の花）	散歩＆買い物（生活介護そら合同）
5月	清水特別支援学校高等部ちいき活動（5月～11月）、ペットボトルリサイクル箱作成	公園遊び、工作（鯉幟）	（伏見さん畑）そらまめ、（そら畑）ニラ収穫
6月	感覚遊び、にじパネルシアター	児童館	散歩＆買い物（生活介護そら合同）
7月	七夕まつり、防災訓練、外出（工場・博物館等の見学、埴輪作り体験、プール・川遊び）	るくる	（伏見さん畑）そら豆、玉ねぎ、（安藤さん畑）玉ねぎ
8月	どれみ夏祭り、外出（ヤマハ見学、プール・川遊び）	交通安全教室、川遊び、工場見学（静岡県警・明治製菓・リサイクル工場）	（そら畑）ニラ、じゃがいも収穫

9月	果物・ミノムシ・ハロウィンランタン作り	陶芸教室	テイクアウト昼食会（生活介護そら合同）
10月	ハロウィンパーティー、陶芸教室	ハロウィンパーティー、ハロウィン絵画	（伏見さん畑）じゃがいも、（安藤さん畑）じゃがいも
11月	外出（公園）、防災訓練、実習受け入れ	防災訓練	（そら畑）ニラ、人参、じゃがいも収穫
12月	クリスマス会、クリスマスドーム・ポップコーン作り、外出（動物園）	クリスマス会、クリスマス絵画、外食、大掃除	紙相撲大会（生活介護そら合同）
1月	初詣、書初め	初詣、書初め、外出（みほしるべ）	（伏見さん畑）きゅうり、ナス、じゃがいも、（安藤さん畑）ピーマン
2月	節分、読み聞かせ、工作（ハートリース）	節分クッキング	（そら畑）ニラ収穫
3月	外出（るくる、めんたいパーク伊豆）	卒業制作、卒業お祝い会、桜絵画、外出（動物園）	夏祭り（生活介護そら合同）
常時	プレイタイム（ジャンボリミッキー・ピタゴラスイッチ）・公園・児童館利用・リサイクル活動	パソコン教室 各曜日2回 月曜日2人・木曜日2人利用	近隣散策、レクリエーション

### 【実施内部研修】

	放課後等デイサービス（どれみ・ここ）	生活介護ここ
4月	接遇・マナー	接遇・マナー
5月	介護技術について	介護技術について
6月	身体拘束・虐待について（全体研修）	身体拘束・虐待について（全体研修）
7月	食中毒、食品の取り扱いについて	食中毒、食品の取り扱いについて
8月	発達障害・知的障害・精神障害・身体障害について	発達障害・知的障害・精神障害・身体障害について
9月	介護技術について	介護技術について
10月	BCP（全体研修）	BCP（全体研修）
11月	虐待・身体拘束について（全体研修）	虐待・身体拘束について（全体研修）
12月	ハラスメントについて	ハラスメントについて
1月	法人理念（全体研修）	法人理念（全体研修）
2月	安全運転講習（全体研修）	安全運転講習（全体研修）
3月	感染防止（全体研修）	感染防止（全体研修）

### 【利用者数報告】

	放課後等デイサービスどれみ	放課後等デイサービスここ	生活介護ここ
サービス提供日数	241日	241日	241日
平均実利用者数（月毎）	16.17人/月	15.67人/月	10.00人/月
全（延べ）利用者数	2,183人	1,762人	1,202人

平均利用者数	9.1 人/日	7.3 人/日	5.0 人/日
平均障害支援区分			5.1

### 〔5〕 生活介護事業部

昨年度の目標（1日の平均利用者数16名以上を継続すること）を達成出来ました。

- ① 利用者及び家族に身体の状態やサービス内容を聴き、総合的な判断のもと、個別支援計画を作成し、サービスを行えました。
- ② 送迎については、毎日6～8台の車両を使い、出来る限り利用者のご希望通り行うことに努めることができました。2便での送迎ルートも数を増やして行えました。
- ③ 入浴希望者に対し、特殊浴槽を利用して入浴の介助をしました。
- ④ 看護師を配置し、吸引や経管栄養、その他の医療的介助を行えました。また、登録特定行為事業者を活用し、継続してサービスの質の向上に努めました。
- ⑤ 他事業所や学生と福祉現場交流実習等を行いました。特に、静岡市しみず社会福祉事業団なぎさホームさんやつばさ静岡わたぐもさんとの交流では、合同運動会や、ポッチャ大会と幅広く交流をもてました。
- ⑥ 季節に合わせた行事では、室内で夏祭りや、音楽発表会等行えました。生活介護ここの合同企画により、ゲームや活動で利用者同士の交流機会が増えました。

### 【利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	19	20	241
利用者延数	332	331	355	315	280	302	339	345	329	303	303	331	3,865
平均利用者数	16.6	16.6	16.1	15.8	14.0	15.1	16.1	17.3	16.5	15.9	15.9	16.6	16.0

### 【区分別利用表】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	10	8	12	9	11	15	12	13	14	13	13	15	145
区分4	9	12	12	11	4	4	5	5	4	4	4	4	78
区分5	24	23	25	25	28	30	28	33	31	30	24	28	329
区分6	289	288	306	270	237	253	294	294	280	256	262	284	3,313
利用者延数	332	331	355	315	280	302	339	345	329	303	303	331	3,865

## 【実施行事】

4月	ネオパーサ清水外出
5月	散歩&買い物、お菓子作りティータイム
6月	テイクアウト昼食会
7月	紙相撲大会
8月	夏祭り
9月	そら・ここ・なぎさ合同ボッチャ大会
10月	ハロウィンパーティー
11月	SMILE モリモリ運動会（わたぐも・なぎさ・ここ・そら合同）
12月	ルナ・ハーブコンサート、ゴスペルコンサート、クリスマス会
1月	二十歳を祝う会
2月	バレンタインクッキング
3月	音楽発表会

## 〔6〕 ホットハート訪問介護事業部

令和5年度も生活援助と身体介護を組み合わせた生活全般を支えるサービスを多く行いました。身体介護は自立支援（家事を一緒に行う、入浴の見守り、買い物同行など）ケアが増えています。

また、介護保険と障害福祉サービスを組み合わせたケアも行いました。

新型コロナウイルスの感染については、5月に「5類感染症」に移行し、収まってきたものの感染の状況を把握し、事業所の方針に従って、個々のケースに対応しました。

ヘルパーの高齢化については、個々に出来るケアと出来なくなったケアを判断し、ヘルパーの健康管理に配慮することが多くなりました。

新しいヘルパーの確保も積極的に行いました。

## 【実施内部研修】

ヘルパー研修は、以下の全12か月行いました。

4月	接遇（資料配布）
5月	食中毒予防（資料配布）
6月	プライバシーの保護（資料配布）
7月	苦情の対応・熱中症予防（資料配布）
8月	倫理・法令遵守（資料配布）
9月	事故再発防止（資料配布）
10月	全体研修 / BCP・災害対策（資料配布）、個別研修①-1 / 看取り
11月	全体研修 / 虐待防止（資料配布）、個別研修②-1 / 薬
12月	認知症（資料配布）、個別研修③-1 / 防災について
1月	全体研修 / 事業所の理念、個別研修②-2 / 薬

2月	全体研修 / 運転者講習 (資料配布)
3月	全体研修 / 感染症 (資料配布)

新型コロナウイルスの感染予防のため、毎月行う研修は資料配布と感想文の提出という形で行いました。個別研修 (小グループ) は事務所で6回行いました。また、全体研修は資料配布が4回、事務所で1回行いました。

1月の全体研修は事務所で行い、研修後は新年会を行いました。事務所職員やヘルパーの良い交流の場となりました。外部研修は行いませんでした。

### 【利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者	76	71	69	66	63	63	67	62	65	64	60	64	790
ケア時間	763	735	685	620	608	615	605	598	615	565	627	665	7,701
スタッフ	37	37	34	37	35	36	36	37	39	38	37	37	440

### 〔7〕 ホットハート居宅介護支援事業部

令和5年度は、5月より男性ケアマネジャー増員があり3名体制で、お互いを支え協力できるチームマネジメントを行い、丁寧な対応と質の高いケアマネジメントの継続を目指しました。日々の業務の中で、プランの作成やサービス調整だけでなく、ご本人、ご家族からの様々な相談や緊急時の対応等を真摯に取り組みました。技術知識の共有、資質向上の取り組みとして、研修の参加 (リモート研修含む) や他居宅介護支援事業所との事例検討会等を開催しました。

- ① 6月から特定事業所加算Ⅲ事業所として、今まで以上に圏域となる飯田庵原地域包括支援センターや清水区内の地域包括支援センター・各サービス事業所・医療機関・地域の方等との連携を図りました。
- ② 毎月1回、事業所内会議を開催し、ケアマネジャー間の情報共有や制度や支援方法の確認を行いました。
- ③ 事例検討会を開催して、お互いの意見を出し合い支援方法の確認を行いました。また、必要に応じて面談に同行するなど、ケアマネジャーが一人で悩む事がないような環境を心掛けました。
- ④ 必要に応じて、外部で開催している研修会に参加し、資質向上に努めました。

### 【ケアプラン作成実績数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ケアプラン	54	53	49	54	54	55	55	55	58	56	51	52	646
(新規)	2	0	1	5	1	1	2	1	3	2	0	1	19

予防プラン	18	18	21	22	22	21	22	21	24	24	23	22	258
(新規)	0	0	1	1	1	0	1	0	2	0	0	0	6
総件数	72	71	70	76	76	76	77	76	82	80	74	74	904
認定調査件数	7	6	7	6	9	7	6	4	9	7	6	4	78

2. 令和5年度 決算報告  
(1) 活動計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日

単位：円

科 目	特定非営利活動 に係る事業	会員制	介護保険	生活支援	障害者居宅支援	生活介護	放課後支援（どれみ）	放課後支援（ここ）	生活介護（ここ）	管理部門
<b>I. 経常収益</b>										
<b>1. 受取会費</b>										
正会員会費	376,750	376,750								
賛助個人会員会費	396,000	396,000								
賛助団体会員会費	40,000	40,000								
<b>2. 事業収益</b>										
会員制事業収益	4,098,360	4,098,360								
介護保険事業収益	42,379,474		42,379,474							
生活支援事業収益	15,105,200			15,105,200						
障害者居宅支援事業収益	80,506,520				80,506,520					
生活介護事業収益	93,402,900					74,128,958			19,273,942	
放課後支援事業収益	36,048,040						23,717,002	12,331,038		
<b>3. その他収益</b>										
一般受取寄付金	1				1					
受取利息	2,325									2,325
受取事務手数料	72,000				30,000					42,000
受取配当金	1,039									1,039
雑収益	4,014,026				12,000					4,002,026
<b>経常収益 計</b>	<b>276,442,635</b>	<b>4,911,110</b>	<b>42,379,474</b>	<b>15,105,200</b>	<b>80,548,521</b>	<b>74,128,958</b>	<b>23,717,002</b>	<b>12,331,038</b>	<b>19,273,942</b>	<b>4,047,390</b>
<b>II. 経常費用</b>										
<b>1. 事業費</b>										
<b>(1) 人件費</b>										
給料手当	165,439,526	1,950,738	34,097,599	11,451,392	53,560,065	30,241,599	13,807,909	10,994,043	9,336,181	
退職金	1,130,000						1,130,000			
処遇改善手当金	19,413,665		3,985,266		4,603,433	5,531,648	1,793,235	1,453,043	2,047,040	
特定処遇改善手当金	5,451,500		1,233,300		1,112,700	1,479,000	747,500	624,000	255,000	
処遇改善補助金	458,388		93,353		117,875	127,500	47,525	23,815	48,320	
法定福利費	20,737,394		3,891,123	919,098	6,323,281	4,603,276	1,757,440	1,595,677	1,647,499	
<b>人件費 計</b>	<b>212,630,473</b>	<b>1,950,738</b>	<b>43,300,641</b>	<b>12,370,490</b>	<b>65,717,354</b>	<b>41,983,023</b>	<b>19,283,609</b>	<b>14,690,578</b>	<b>13,334,040</b>	<b>0</b>
<b>(2) その他経費</b>										
パソコン教室費	168,500			168,500						
活動費	139,810					48,535	28,547	40,353	22,375	
自立生活プログラム事業費	10,000			10,000						
福利厚生費	428,634		61,661	14,916	154,428	82,873	26,091	67,715	20,950	
旅費交通費	2,281,750	194,960	793,120	24,260	1,011,420	12,690	146,790	95,970	2,540	
交際費	106,105		37,830		11,080	41,315		15,880		
車両関係費	5,201,039	426,462	199,924	252,777	472,031	2,501,007	326,244	373,810	648,784	
通信費	1,704,308		382,447	281,609	497,361	253,961	134,366	125,831	28,733	
水道光熱費	1,818,630					1,376,113	136,253	306,264		
公租公課	476,000	7,200	12,900		28,800	220,800	74,900	84,900	46,500	
リース料	399,114		440		225,500	113,774	26,202	17,358	15,840	
賃借料	2,244,708			420,000			1,734,708		90,000	
消耗品費	1,155,274		5,706	18,531	24,682	302,045	419,268	277,953	107,089	
事務用品費	183,694		12,126	10,755	101,825	5,360	18,628	11,398	23,602	
備品費	394,638		2,680		262,629	60,150	25,356	20,480	23,343	
印刷製本費	198,000		6,600	13,200	107,800	61,600	2,200	2,200	4,400	
機関紙発行費	107,944			107,944						
新聞図書費	20,856		12,540	2,970				5,346		
修繕費	329,560					320,760		8,800		
保険料	721,900	52,920	26,400	25,680	78,240	347,870	65,990	60,960	63,840	
支払手数料	235,734		36,284	4,070	72,119	76,361	28,430	11,870	6,600	
減価償却費	4,832,466		30,249		164,769	1,608,739	34,354	1,376,774	1,617,581	
職員研修費	347,380		100,700	22,180	71,500	42,000	50,500	23,500	37,000	
会費金	10,000		10,000							
顧問報酬費	280,000					260,000			20,000	
雑費	1,600								1,600	
<b>その他経費 計</b>	<b>23,797,644</b>	<b>681,542</b>	<b>1,731,607</b>	<b>1,377,392</b>	<b>3,284,184</b>	<b>7,735,953</b>	<b>3,278,827</b>	<b>2,918,562</b>	<b>2,789,577</b>	<b>0</b>
<b>事業費 計</b>	<b>236,428,117</b>	<b>2,632,280</b>	<b>45,032,248</b>	<b>13,747,882</b>	<b>69,001,538</b>	<b>49,718,976</b>	<b>22,562,436</b>	<b>17,609,140</b>	<b>16,123,617</b>	<b>0</b>
<b>2. 管理費</b>										
<b>(1) 人件費</b>										
給料手当	7,378,550									7,378,550
処遇改善手当金	681,600									681,600
特定処遇改善手当金	255,000									255,000
処遇改善補助金	17,200									17,200
法定福利費	4,376,174									4,376,174
<b>人件費 計</b>	<b>12,708,524</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>12,708,524</b>
<b>(2) その他経費</b>										
福利厚生費	503,468									503,468
旅費交通費	47,805									47,805
交際費	84,990									84,990
車両関係費	14,610									14,610
通信費	295,403									295,403
水道光熱費	50,270									50,270
公租公課	728,972									728,972
リース料	621,370									621,370
賃借料	660,000									660,000
消耗品費	1,035,961									1,035,961
事務用品費	213,484									213,484
備品費	572,160									572,160
印刷製本費	29,700									29,700
新聞図書費	21,615									21,615
修繕費	1,425,567									1,425,567
保険料	982,780									982,780
支払手数料	1,325,052									1,325,052
減価償却費	6,137,004									6,137,004
職員研修費	17,600									17,600
会費金	11,500									11,500
顧問報酬費	1,478,788									1,478,788
広告宣伝費	10,000									10,000
雑費	217,095									217,095
<b>その他経費 計</b>	<b>16,485,194</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>16,485,194</b>
<b>管理費 計</b>	<b>29,193,718</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>29,193,718</b>
<b>経常費用 計</b>	<b>265,621,835</b>	<b>2,632,280</b>	<b>45,032,248</b>	<b>13,747,882</b>	<b>69,001,538</b>	<b>49,718,976</b>	<b>22,562,436</b>	<b>17,609,140</b>	<b>16,123,617</b>	<b>29,193,718</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>10,820,800</b>	<b>2,278,830</b>	<b>△ 2,652,774</b>	<b>1,357,318</b>	<b>11,546,983</b>	<b>24,409,982</b>	<b>1,154,566</b>	<b>△ 5,278,102</b>	<b>3,150,325</b>	<b>△ 25,146,328</b>
<b>III. 経常外収益・特別収益</b>										
過年度損益修正益	3,201,860									3,201,860
<b>経常外収益・特別収益 計</b>	<b>3,201,860</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,201,860</b>
<b>IV. 経常外費用・特別損失</b>										
固定資産廃棄損	1									1
利息引当料	967,784									967,784
過年度損益修正損	1,338,859							1,338,859		
雑損失	14,836								2,970	11,866
法人税等	71,000		71,000							
<b>経常外費用・特別損失 計</b>	<b>2,392,480</b>	<b>0</b>	<b>71,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,338,859</b>	<b>2,970</b>	<b>979,651</b>
<b>当期正味財産増減額（管理費配賦前）</b>	<b>11,630,180</b>	<b>2,278,830</b>	<b>△ 2,723,774</b>	<b>1,357,318</b>	<b>11,546,983</b>	<b>24,409,982</b>	<b>1,154,566</b>	<b>△ 6,616,961</b>	<b>3,147,355</b>	<b>△ 22,924,119</b>
管理部門負担金	0	356,677	6,101,909	0	9,349,769	6,736,965	3,057,230	2,386,054	2,184,765	△ 30,173,369
<b>当期正味財産増減額（管理費配賦後）</b>	<b>11,630,180</b>	<b>1,922,153</b>	<b>△ 8,825,683</b>	<b>1,357,318</b>	<b>2,197,214</b>	<b>17,673,017</b>	<b>△ 1,902,664</b>	<b>△ 9,003,015</b>	<b>962,590</b>	<b>7,249,250</b>
前期繰越正味財産額	132,305,032									
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>143,935,212</b>									

## (2) 貸借対照表

令和6年3月31日現在

単位：円

資産の部	当期	前期	負債及び正味財産の部	当期	前期
I. 資産			II. 負債		
1. 流動資産	<b>142,564,461</b>	<b>132,832,471</b>	1. 流動負債	<b>18,152,316</b>	<b>17,397,947</b>
現金預金	96,127,130	88,665,126	預り金	3,686,230	1,765,232
未収入金	46,203,662	44,017,651	未払金	13,740,486	15,597,715
立替金	233,669	149,694	前受金	18,000	35,000
2. 固定資産	<b>169,203,096</b>	<b>179,482,917</b>	未払消費税等	707,600	
建物	57,038,883	61,060,444	2. 固定負債	<b>149,680,029</b>	<b>162,612,409</b>
建物附属設備	20,565,234	24,170,591	長期借入金	149,680,029	162,612,409
構築物	511,497	588,070	負債合計	<b>167,832,345</b>	<b>180,010,356</b>
車両	4,903,682	7,351,834			
什器備品	678,438	1,055,616			
土地	84,578,112	84,578,112	III. 正味財産	<b>143,935,212</b>	<b>132,305,032</b>
電話加入権	70,390	70,390	当期正味財産増加額	11,630,180	22,160,888
差入保証金	777,000	528,000			
出資金	40,000	40,000			
長期前払費用	39,860	39,860			
合計	<b>311,767,557</b>	<b>312,315,388</b>	合計	<b>311,767,557</b>	<b>312,315,388</b>

## (3) 財産目録

令和6年3月31日現在

単位：円

資産の部	内訳	計	負債及び正味財産の部	内訳	計
<b>I. 資産</b>			<b>II. 負債</b>		
<b>1. 流動資産</b>			<b>1. 流動負債</b>		
(1) 現金預金		<b>96,127,130</b>	(1) 預り金		<b>3,686,230</b>
現金	594,463		社会保険料	2,725,255	
釣り銭両替分	70,000		雇用保険	960,975	
普通預金 清水銀行 支援	10,855,174		(2) 未払金		<b>13,740,486</b>
清水銀行 そらNPO	43,846,371		印刷製本費	27,500	
静岡信用金庫	2,324,274		活動費	1,171	
郵便局	1,733,409		給与手当	9,973,978	
農協	629,433		ケアスタ給与	2,824,775	
労働金庫	3,383		公租公課	10,900	
定期預金 清水銀行	1,050,000		顧問報酬費	101,763	
静岡信用金庫	400,000		支払手数料	10,780	
定期預金 清水銀行	26,614,676		事務用品費	21,243	
静岡信用金庫	8,005,947		車両関係費	375,296	
(2) 未収入金		<b>46,203,662</b>	消耗品費	55,346	
会員制介助派遣利用料	327,100		処遇改善手当	135,630	
訪問介護利用料	4,934,791		パソコン教室	4,000	
居宅介護支援利用料	1,620,166		福利厚生費	3,184	
介護予防支援利用料	180,664		保険料	17,540	
介護保険認定調査料	60,500		旅費交通費	177,380	
静岡市委託事業料	1,373,200		(3) 前受金		<b>18,000</b>
計画相談支援	4,416,409		令和6年度年会費	18,000	
障害児相談支援	1,404,668		(4) 未払消費税等		<b>707,600</b>
障害者居宅支援利用料	7,915,151		確定消費税	707,600	
生活介護利用料（そら）	11,818,331		<b>2. 固定負債</b>		
放課後等デイサービス利用料（どれみ）	3,385,834		(1) 長期借入金		<b>149,680,029</b>
放課後等デイサービス利用料（ここ）	1,960,088		静岡信用金庫	129,959,029	
生活介護利用料（ここ）	3,286,760		清水銀行	19,721,000	
静岡市台風15号災害復旧補助金	3,520,000		<b>III. 正味財産</b>		<b>143,935,212</b>
(3) 立替金		<b>233,669</b>	(内当期正味財産増加額)	(11,630,180)	
どれみ おやつ代	75,164				
ここ おやつ代	87,835				
その他	70,670				
<b>2. 固定資産</b>					
(1) 建物		<b>57,038,883</b>			
事務所兼生活介護事業所	45,123,484				
放課後等デイサービスここ事業所	10,547,215				
生活介護ここ 建築工事	1,368,184				
(2) 建物付属設備		<b>20,565,234</b>			
放課後等デイサービスどれみ	458,364				
放課後等デイサービスここ	6,240,951				
生活介護ここ	977,993				
事務所兼生活介護事業所	12,887,926				
(3) 構築物		<b>511,497</b>			
放課後等デイサービスここ 外構舗装工事	113,379				
本部駐車場	398,118				
(4) 車両		<b>4,903,682</b>			
車両21台	4,903,680				
原動付自転車2台	2				
(5) 什器備品		<b>678,438</b>			
パソコン 20台	1				
シュレッダー 2台	49,105				
監視カメラ	1				
生活介護用具	1				
空調設備（生活介護）	629,330				
(6) 土地		<b>84,578,112</b>			
清水区庵原町219-18（そら）	62,037,072				
清水区庵原町150-31（ここ）	9,525,440				
清水区庵原町595-21（駐車場）	13,015,600				
(7) 電話加入権		<b>70,390</b>			
電話加入権	70,390				
(8) 差入保証金		<b>777,000</b>			
放課後支援どれみ建物	348,000				
駐車場敷金	180,000				
ゆくり亭 建物敷金	249,000				
(9) 出資金		<b>40,000</b>			
静岡信用金庫	20,000				
静岡県中小企業調査研究機構	10,000				
静岡労働金庫	10,000				
(10) 長期前払費用		<b>39,860</b>			
車両リサイクル預託金	39,860				
合計		<b>311,767,557</b>	合計		<b>311,767,557</b>

(4) 監査報告

令和5年度 特定非営利活動法人清水障害者サポートセンターそらの事業について法人監査を実施しました。

事業報告書・活動計算書・貸借対照表・財産目録を関係諸帳簿・通帳などと監査・照合したところ、全て適正に処理されていることを確認したので報告します。

令和6年6月3日

特定非営利活動法人  
清水障害者サポートセンターそら

監事 川島 徹也 

監事 渡辺 雅彦 

## 第2号議案 令和6年度 事業計画及び予算~~(案)~~

### 1. 令和6年度 事業計画

#### 〔1〕 法人運営について

今年度から新たな事業、ゆくり亭（しゅうまいの製造販売）とミモザ（古着販売）を認定 NPO 法人よもぎ会から引き継ぎ、生活介護この事業として始めました。以前から勤めてきた職員（障がい当事者）の処遇を改善することで労働意欲を高めることや、生活介護この利用者にとっても、新たな活動先として充実した環境となるよう努めていきます。

このように新たな事業も加わったことから、法人内の体制（部署の配置）を見直し、今年度の事業を展開していきます。

① 障害者相談支援事業部	}	⇒	① 相談事業部
② ホットハート居宅介護支援事業部			
③ 障害者居宅介護支援事業部	}	⇒	② 訪問介護事業部
④ ホットハート訪問介護事業部			
⑤ 障害者生活介護支援事業部	⇒		③ 生活介護そら事業部
⑥ 放課後等デイサービス事業部	⇒		④ サテライト事業部

#### (1) 法人通常総会の開催

令和6年6月15日（土）10：00～

#### (2) 理事会の開催

第一回 令和6年6月6日（木）17：30～

第二回 令和6年11月下旬

第三回 令和7年3月上旬

#### (3) 法人全体研修の実施

① 虐待・身体拘束（6月・11月）

② 法人理念（1月）

③ 安全運転（2月）

④ 感染防止（3月）

#### (4) 各種研修会への参加

① 相談支援従事者初任者研修 1名

② 相談支援従事者現任研修 3名

- ③ サービス管理責任者等更新研修 1名
- ④ 障害者虐待防止・権利擁護研修 1名

**(5) 防災訓練の実施**

- 第一回 令和6年7月10日(水) 14:00～
- 第二回 令和6年11月1日(金) 14:00～

**〔2〕 相談事業部**

**(1) 静岡市委託障害者相談支援事業**

令和6年度も、静岡市からの委託を受け静岡市障害者等相談支援事業を行います。これまでと同様、相談者に寄り添い不安を解消し安心が得られるよう、幅広い視野を持った対応ができるよう努めていきます。

今年度は重層的支援体制整備事業、合理的配慮の提供の義務化(事業者)が始まり、今まで以上に関係各所との繋がりが重要になってくると思います。複数障害、複数問題を抱えている方が増えてきている現状を踏まえ、「現在の支援方法が最適か」を常に意識しながら支援していきたいと思います。

さらに、清水区障害者相談支援連絡調整会議、事務局会議においては、困難事例の検討や東部地域障がい福祉相談会の開催、研修会等の企画など行い、地域を考えたより良い相談支援事業に努めていきます。

**① ピアカウンセリングに関する事業**

障害当事者であるピアカウンセラーが相談に対応し、障害についての理解、日常生活における不安の解消、サービス利用等共に考えていきます。

この事業の周知については、継続してホームページなどで広報を行っており、日頃の相談対応の中でも事業の存在を情報提供することで、随時活用していただけるよう発信しています。

今後も当事者が無理なく相談できる体制をつくり、相談支援を行う際には同じ立場に立った助言など、丁寧に対応していきたいと思います。

**② 社会資源を活用するための支援**

社会資源を活用するための支援を実施します。

事業名	実施予定回数	参加予定人数
ICT 教室	98 回	各曜日 1～2 名
商業施設のバリアフリーをチェックしよう！	1 回	3～5 名
第 51 回国際福祉機器展に参加しよう！	1 回	3～5 名

③ 社会生活力を高めるための支援

社会生活力を高めるための支援を実施します。

事業名	実施予定回数	参加予定人数
私の防災🏠再確認	2回	各回5名程度
春うらら～こころはずむコーディネート	1回	各回5名程度
～乾麺 アレンジランチ ～ レッツトライ!	1回	5名程度

④ 広報啓発に関する事業

● 講師派遣事業

講師として依頼があった場合には職員を派遣します。

● 機関誌の発行

活動報告や様々な情報を掲載した機関誌「清水障害者サポートセンターそら」の、更なる内容の充実化を図り、年4回(4月、7月、10月、1月)発行します。

● 研修会などの開催

障害者支援に関わる研修会等を、積極的に行います。

⑤ 障害者虐待防止センター事業

障害者虐待の防止及び早期発見・早期対応を目的として、障害者や養護者、事業者等からの相談を受け付け、行政への通報、届け出を行うとともに、関係機関との協議を通して助言、指導等を実施します。

(2) 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

① ご利用者やご家族に対して、より丁寧な対応を行い、希望に基づく計画を作成し適切なサービスが利用できるように努めます。また、新規のご相談に対してもできる限り対応します。

② 清水区障害者相談支援事務局会議、相談支援部会等に積極的に参加し、地域の課題解決や相談支援専門員の質の向上に取り組みます。

③ サービス提供における留意事項や情報共有を目的とした定例会議を、毎週1回開催します。

④ 24時間連絡できる体制を確保します。

⑤ 基幹相談支援センター等からの困難事例の紹介に対して計画相談支援の提供に努めます。

⑥ 基幹相談支援センター等が開催する事例検討会等に積極的に参加します。

⑦ 随時、外部研修会等に参加し、相談支援専門員のスキルアップに努めます。

令和6年度も、常勤専従7名を配置して相談支援機能強化体制加算Ⅰを取得し、より多くの方の支援に対応できるような体制を構築します。

また、相談者に寄り添い不安を解消し安心が得られるよう、幅広い視野を持

ち対応できるよう努めていきます。様々な相談に対しては、常に相談内容の課題分析をしつつ、必要に応じたより良い支援ができるよう相談員の知識を深めていきます。さらに、積極的に地域の学校等の実習生受け入れを行い、若い世代の福祉への関心向上にも協力します。

### (3) ホットハート居宅介護支援事業

令和6年度も、特定事業所加算Ⅲ事業所として、ケアマネジャー同士や関係機関と協力関係を維持して、質の高いケアマネジメントを行い、利用者へ丁寧な対応を実施してまいります。また、ご家族や地域、関係機関から様々な相談を受け、地域の相談場所としての機能も引き続き果たしてまいります。

- ① 特定事業所加算Ⅲ事業所として、今まで以上に圏域となる飯田庵原地域包括支援センターや清水区内の地域包括支援センター・各サービス事業所・医療機関・地域の方等との連携を図ります。
- ② 毎月1回、事業所内会議を開催し、ケアマネジャー間の情報共有や制度や支援方法の確認を行います。
- ③ 認定調査の実施を引き続き行います。
- ④ 事業所内で事例検討を行い、お互いの意見を出し合い支援方法の確認を行います。
- ⑤ 随時、事業所内外の研修に参加して、ケアマネジャーの資質向上に努めます。

#### 【ケアプラン作成計画】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ケアプラン	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720
(新規)	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6
予防プラン	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
(新規)	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	6
総件数	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	960
認定調査件数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72

### 〔3〕 訪問介護事業部

#### (1) 介護サービスそら

令和6年度より常勤の男性職員が加わり、新たな人員体制の元、前年度に引き続きヘルパーと協力し、安心して安定したサービス提供に努めます。

ご利用状況についても前年と同程度のご利用者数とご利用時間数を維持しつつ新規のご利用者も増やせるよう努めてまいります。

また、今後も引き続き各種感染症の影響に配慮しつつ、カンファレンス等々

でヘルパーと対面できる機会を増やせるよう努めます。

ヘルパーの研修はレポート形式を主に行い、全体研修開催の際には多くのヘルパーが参加できるように業務調整等を実施していきます。

情報伝達及び報告体制も現状の体制を維持し、必要に応じて体制を見直すなど臨機応変な対応に努めます。

### 【サービス提供計画】

居宅介護	44人／月	身体介護 160時間／月、家事援助 150時間／月
重度訪問	5人／月	460時間／月
同行援護	15人／月	60時間／月
移動支援	67人／月	300時間／月

- サービスの調整を随時行い、ご利用者数とご利用時間を増やしていきます。
- 感染対策の徹底を引き続き実行し、安心したサービス提供に努めます。
- 新規のご利用者の契約を前向きに検討します。

### 【内部研修】

5月	食中毒予防
6月	プライバシー保護
7月	苦情対応、熱中症予防
9月	事故再発防止
10月	BCP（事業継続計画）
11月	虐待防止と身体拘束
1月	法人理念
2月	交通安全
3月	感染症の発生及びまん延防止

- 研修はレポート形式を引き続き行い、必要に応じて対面での実施も検討します。
- 上記研修以外にも個別研修を実施予定です。

## (2) ホットハート介護サービス

今年度も、自立支援と重度化防止を念頭においたサービスを心掛けます。

透析治療を受けている方、難病、認知症の方などの病状を理解し、状況に応じた必要なケアを行えるよう、配慮します。

また、ご夫婦、親子共に要介護の方、介護保険と障害福祉サービスを利用している方が同居されている方、介護度の高い方などのケースにもきめ細やかに対応していきます。

ケアマネジャー、地域包括支援センター、自立支援相談員、民生委員、保健師、医療機関の方々と連携していきます。

ヘルパーからの日々のサービス報告書の内容を把握し、提供責任者とヘルパーの連携を密にして、ご利用者の意志を大切にしながらご家族の要望、体調に沿ったサービスが提供できるよう努めてまいります。

高齢化していくヘルパーの心身の健康に気を配り、新たなヘルパー雇用にも積極的に取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染予防に十分配慮し、ご利用者には安心していただけるよう、状況に応じて対応していきます。

### 【内部研修】

接遇や事故防止などの毎年行うテーマに加え、実際に行っているケア内容に応じた研修も行います。今年度は新型コロナウイルス感染状況を見ながら、事務所でより多く研修を行い、ヘルパー間の交流、情報交換の時間を大切にしたいと考えています。

外部研修・資格習得の案内や情報は随時、提供していきます。

## 〔4〕 生活介護そら事業部

1日の平均利用者数16名以上を目標にしていきます。

- ① 利用者及び家族から本人の身体の状態やサービス内容の希望を聴き、総合的な判断のもと、個別支援計画を作成します。
- ② 送迎車両6台～8台を利用し、できる限り希望に沿った送迎を行います。
- ③ 特殊浴槽を利用して、気持ちよく入浴できるよう援助します。
- ④ 看護師配置や登録特定行為事業者を活用し、医療的支援が必要な方への対応をします。
- ⑤ 利用者ニーズに合わせた毎月の行事、他事業所との活動や実習生の受け入れ等、地域交流や連携も含めて積極的に行っていきます。
- ⑥ 利用者が望む活動や季節に合わせた行事を実施します。
- ⑦ 介護保険へ移行する方が継続してサービスを利用いただけるよう、共生型サービス事業を行います。

### 【行事予定】

4月	新人歓迎会
5月	散歩&買い物
6月	テイクアウト昼食会
7月	紙相撲大会
8月	夏祭り
9月	ボッチャ大会（合同）
10月	ハロウィンパーティー

11月	交流運動会（合同）
12月	クリスマス会
1月	テイクアウト昼食会
2月	豆まき
3月	音楽発表会

#### 【内部研修】

4月	報酬改定について
6月	虐待防止・身体拘束について
7月	障害福祉サービス・個別支援計画の理解について
8・9月	基礎・応用介護技術（移動介助・食事・入浴・排泄・口腔等介助）
10月	BCPについて
11月	虐待防止・身体拘束について
1月	法人理念。接遇について
2月	安全運転について
3月	感染症について

#### 〔5〕 サテライト事業部

令和6年度は、サテライト事業部と事業部名を変更し、放課後等デイサービスどれみ、放課後等デイサービスここ、生活介護ここと更なる協力体制を構築して、利用者の定着、増員を目指し、安定した事業運営を目指します。

- ① 利用者及び家族から本人の身体の状態やサービス内容の希望を聴き、総合的な判断のもと、個別支援計画を作成します。
- ② 送迎車両を利用し、できる限り希望に沿った送迎を行います。
- ③ 放課後等デイサービスでは、5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の視点を網羅した支援を行います。また、保護者会を開催し、「家族支援」のきっかけ作りを目指します。
- ④ サテライト事業部での合同イベント（陶芸居室やハロウィンパーティー）や協力作業（畑作業や缶バッチ作成等）を行い、連携も積極的に行っていきます。
- ⑤ 生活介護ここでは、従たる事業所として令和6年度より、しゅうまい等の製造・販売を開始して生産活動を行い、工賃を支払います。製造数の安定化・食品衛生の強化・利用者増員を目指します。また、登録特定行為事業者を活用し、医療的支援が必要な方への対応を継続します。
- ⑥ 利用者ニーズに合わせて、地域生活のための継続利用、他事業所との活動や実習生の受け入れ等、地域交流や連携も積極的に行っていきます。

## 【行事予定】

	放課後等デイサービスどれみ	放課後等デイサービスここ	生活介護ここ
4月	どれみ広場作成、工作、プレイタイム開始、パフェ作り	春休み活動(るくる、フライングディスク大会)、ホットケーキ作り	ゆくり亭&MIMOZA 交流会
5月	清水特別支援学校高等部ちいき活動(~11月)、工作	公園遊び、フレンチトースト作り	野菜でクッキング
6月	公園遊び、工作	児童館、ポップコーン作り	外出(明治なるほどファクトリー)
7月	七夕まつり見学、工作、防災訓練	防災訓練、かき氷作り	外出(七夕まつり)
8月	プール・川遊び、夏祭り、工作	夏休み活動(川遊び、フライングディスク大会、工場見学、外食)、カレーライス作り	夏祭り
9月	合同陶芸教室、工作	合同陶芸教室、野菜収穫体験、野菜ピザ作り	合同陶芸教室、合同ボッチャ大会
10月	合同ハロウィンパーティー、工作	合同ハロウィンパーティー、ハロウィンお菓子作り	合同ハロウィンパーティー
11月	保護者会、防災訓練、工作	防災訓練、さつまいもおやつ作り	交流運動会、秋葉祭り準備
12月	クリスマス会、工作	冬休み活動(クリスマス会、外食、秋葉祭、大掃除)、サンドイッチ作り	秋葉祭り、忘年会
1月	初詣、書初め大会	書初め、おもち作り	初詣
2月	節分、工作	節分、はしまき作り	豆まき、バレンタイン
3月	雛祭り、工作	春休み活動(動物園、卒業制作、公園、お別れ会)、白玉団子作り	散歩&買い物
随時	公園遊び、児童館利用、リサイクル活動、プレイタイム	公園遊び、児童館利用、パソコン教室	生産活動

## 【内部研修】

4月	接遇・マナー(放課後等デイサービスどれみ・ここ)、畑活動の知識について(生活介護ここ)
5月	個別支援計画、事故・ヒヤリハットについて
6月	身体拘束・虐待・ハラスメント
7月	災害について、障害(発達・知的・精神・身体)理解
9月	災害について、障害(発達・知的・精神・身体)理解
10月	B C Pについて
1月	法人理念・療育について
2月	安全運転について
3月	感染症について

2. 令和6年度 予算  
(1) 活動予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日

単位：円

科 目	特定非営利活動 に係る事業	会員制	介護保険	生活支援	障害者居宅支援	生活介護	放課後支援 (どれみ)	放課後支援 (ここ)	生活介護 (ここ)	生活介護 (ここ ゆくり亭)	管理部門
<b>I. 経常収益</b>											
<b>1. 受取会費</b>											
正会員会費	380,000	380,000									
賛助個人会員会費	400,000	400,000									
賛助団体会員会費	40,000	40,000									
<b>2. 事業収益</b>											
会員制事業収益	4,100,000	4,100,000									
介護保険事業収益	43,800,000		43,800,000								
生活支援事業収益	15,176,700			15,176,700							
障害者居宅支援事業収益	90,000,000				90,000,000						
生活介護事業収益	98,000,000					73,000,000			25,000,000		
放課後支援事業収益	38,500,000						26,000,000	12,500,000			
売上高	2,700,000									2,700,000	
<b>3. 売上原価</b>											
仕入高	730,000									730,000	
売上総収入 計	292,366,700	4,920,000	43,800,000	15,176,700	90,000,000	73,000,000	26,000,000	12,500,000	25,000,000	1,970,000	0
<b>II. 経常費用</b>											
<b>1. 事業費</b>											
<b>(1) 人件費</b>											
給料手当	186,150,000	2,200,000	37,700,000	11,200,000	59,400,000	33,600,000	15,300,000	12,000,000	13,400,000	1,350,000	
処遇改善手当金	24,700,000		5,000,000		5,700,000	7,000,000	2,500,000	2,000,000	2,500,000		
退職金	0										
法定福利費	22,150,000		4,000,000	950,000	7,000,000	4,800,000	1,900,000	1,500,000	2,000,000		
人件費 計	233,000,000	2,200,000	46,700,000	12,150,000	72,100,000	45,400,000	19,700,000	15,500,000	17,900,000	1,350,000	0
<b>(2) その他経費</b>											
パソコン教室費	200,000			200,000							
活動費	150,000					50,000	30,000	40,000	30,000		
自立生活プログラム事業費	130,000			130,000							
福利厚生費	400,000		50,000	40,000	110,000	100,000	30,000	40,000	30,000		
旅費交通費	2,730,000	200,000	1,100,000	50,000	1,100,000	10,000	150,000	100,000	10,000	10,000	
交際費	90,000		20,000		20,000	10,000	10,000	20,000	10,000		
車両関係費	5,400,000	250,000	200,000	250,000	350,000	2,900,000	400,000	400,000	400,000	250,000	
通信費	1,730,000	10,000	350,000	350,000	400,000	230,000	120,000	120,000	30,000	120,000	
水道光熱費	2,110,000					1,500,000	140,000		350,000	120,000	
公租公課	600,000	20,000	20,000	10,000	30,000	200,000	100,000	100,000	120,000		
リース料	410,000			30,000	200,000	110,000	30,000	20,000	20,000		
賃借料	3,140,000			240,000			1,700,000		1,200,000		
消耗品費	1,075,000		5,000		20,000	300,000	300,000	100,000	300,000	50,000	
事務用品費	260,000		30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	20,000	20,000	70,000	
備品費	370,000		10,000		100,000	100,000	80,000	30,000	50,000		
印刷製本費	165,000	5,000	10,000	20,000	80,000	20,000	10,000	10,000	10,000		
機関紙発行費	100,000			100,000							
新聞図書費	20,000		5,000		5,000	5,000			5,000		
修繕費	270,000					200,000	30,000	20,000	20,000		
保険料	790,000	60,000	30,000	60,000	80,000	350,000	70,000	70,000	70,000		
支払手数料	240,000	30,000	30,000	20,000	60,000	60,000	20,000	10,000	10,000		
減価償却費	4,800,000		300,000		500,000	2,000,000	600,000	600,000	800,000		
職員研修費	362,000		100,000	22,000	100,000	50,000	20,000	20,000	50,000		
会費金	10,000		10,000								
顧問報酬費	280,000					260,000			20,000		
雑費	60,000		10,000		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		
付属設備費	140,000					50,000	30,000	30,000	30,000		
その他経費 計	26,032,000	575,000	2,280,000	1,552,000	3,195,000	8,545,000	3,910,000	1,760,000	3,595,000	620,000	0
事業費 計	259,032,000	2,775,000	48,980,000	13,702,000	75,295,000	53,945,000	23,610,000	17,260,000	21,495,000	1,970,000	0
<b>2. 管理費</b>											
<b>(1) 人件費</b>											
給料手当	9,000,000										9,000,000
退職金	0										
法定福利費	4,500,000										4,500,000
人件費 計	13,500,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,500,000
<b>(2) その他経費</b>											
福利厚生費	500,000										500,000
旅費交通費	40,000										40,000
交際費	85,000										85,000
車両関係費	50,000										50,000
通信費	300,000										300,000
公租公課	750,000										750,000
リース料	620,000										620,000
賃借料	660,000										660,000
消耗品費	1,000,000										1,000,000
事務用品費	220,000										220,000
備品費	300,000										300,000
印刷製本費	30,000										30,000
新聞図書費	30,000										30,000
修繕費	1,500,000										1,500,000
保険料	1,000,000										1,000,000
支払手数料	1,300,000										1,300,000
減価償却費	6,200,000										6,200,000
職員研修費	30,000										30,000
会費金	10,000										10,000
顧問報酬費	1,500,000										1,500,000
雑費	300,000										300,000
付属設備費	300,000										300,000
その他経費 計	16,725,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,725,000
管理費 計	30,225,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,225,000
経常費用 計	289,257,000	2,775,000	48,980,000	13,702,000	75,295,000	53,945,000	23,610,000	17,260,000	21,495,000	1,970,000	30,225,000
当期経常増減額	3,109,700	2,145,000	△ 5,180,000	1,474,700	14,705,000	19,055,000	2,390,000	△ 4,760,000	3,505,000	0	△ 30,225,000
<b>III. 経常外収益</b>											
固定資産売却益	0										
経常外収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>IV. 経常外費用</b>											
固定資産廃棄損	0										
利息割引料	1,000,000										1,000,000
過年度損益修正	1,000,000							1,000,000			
法人税等	71,000		71,000								
経常外費用 計	2,071,000	0	71,000	0	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
当期正味財産増減額 (管理費配賦前)	1,038,700	2,145,000	△ 5,251,000	1,474,700	14,705,000	19,055,000	2,390,000	△ 5,760,000	3,505,000	0	△ 31,225,000
管理部門負担金	0	468,375	6,245,000	0	9,679,750	6,869,500	2,966,375	2,185,750	2,810,250	0	△ 31,225,000
当期正味財産増減額 (管理費配賦後)	1,038,700	1,676,625	△ 11,496,000	1,474,700	5,025,250	12,185,500	△ 576,375	△ 7,945,750	694,750	0	0
前期繰越正味財産額	143,935,212										
次期繰越正味財産増減額	144,973,912										